

患者向医薬品ガイド 自覚症状表作成支援ツール

Symptom

- 患者向医薬品ガイド作成時の複数の自覚症状表が簡単に作成できるようになります
- ≪自覚症状表示≫副作用用語を入力するとそれぞれの自覚症状を表示します
- ≪部位別表示≫同時に自覚症状を副作用の現れる部位別表に並び替えて表示します
- ≪重複判別≫複数の副作用を入力すると、重複する自覚症状が判別可能です
- ≪並び替え≫同時に自覚症状の重複度に応じて部位別表示での順番を並び替えます
- 「副作用・自覚症状」表と「部位別」表は、ボタン一つで簡単にWord文書で表示します

【ポイント】

自覚症状表記に苦労していませんか？

患者向医薬品ガイド作成時、自覚症状の表記をどうしていますか？部位別表では部位と自覚症状だけに並べ替える必要があります。副作用、自覚症状、部位を、二つの表で常に統一記述することが要求されます。

副作用と自覚症状を適切に表示

「患者向医薬品ガイド」の公開が始まりました。
患者向医薬品ガイドの特徴として、副作用ごとに記載される表と、副作用の症状を、現れる体の部位別に表現しなおした表により、患者自身が副作用の早期発見に気付くようになっている点が上げられます。
この患者向医薬品ガイド作成に資するため、副作用と自覚症状の用語集が提供されています。
弊社ではこの用語集を活用して、副作用ごとに記載される表と副作用の症状を現れる体の部位別に表現しなおした表を簡単に作成できるツールを提供いたします。
このツールを使えば、困難で手数のかかる自覚症状の表を適切に作成できるようになります。

【特徴】

- **部位別表が容易に作成できます**
副作用ごとに自覚症状を記載し、さらに自覚症状をあらわれる体の部位別に表現しなおす作業が一度に終了します。部位別表では自覚症状は重複表示せず、重複度に応じて順序を自動的に並び替えます。
- **独自データではない安心感があります**
提供された用語集データをお客様でご用意いただき、弊社にてツールにデータ内容を組み込みますので、データ内容は安心です。
- **解りやすく単純な操作です**
操作はいたって簡単ですから、誰でもが導入したその場で使い始められます。
- **Wordの表に簡単に変換**
ボタン一つでWord文書になります。後は必要な個所に張り込むだけで終了です。

平成17年6月30日、「患者向医薬品ガイドの作成要領について」(薬食発第0630001号)により、具体化された「患者向医薬品ガイド」は、平成18年1月31日より、医薬品医療機器総合機構のホームページより、国民誰でもが入手できる情報として公開が開始されています。今後、段階を追って対象品目が広げられ平成19年には注射剤を含む該当医薬品の患者向医薬品ガイドが公開される予定です。

患者向医薬品ガイドは、その性格から添付文書の改訂ごとにその内容を反映されることになり、製薬企業としては添付文書改訂時に患者向医薬品ガイドの改訂も行うことになり、改訂時の作業負担は確実に増大します。特に、副作用ごとに自覚症状を記載するだけでなく、自覚症状をさらに部位別に編集しなおす作業は、手作業で行うには負担の高い作業であることは容易に想像できます。

このため当社では、副作用ごとに自覚症状が記載される表と自覚症状の部位別表を同時に作成する変換ツール「Symptom」を製薬企業様向けにご提供いたします。「Symptom」は変換の仕組みだけを担います。用語データは、総合機構サイトより製薬企業様に提供される用語集を組み込んで使用します。したがってご依頼の際には製薬企業様より用語集をお預かりし、弊社にて組み込み納品いたします。

このような変換ツールの場合、常に問題となる用語データ内容の更新についても、「組み込み納品」という手間のかかる方法を取っていますので、今後用語集が改変された場合、ご依頼により新版を組み込んで更新しご提供することが可能です。この結果、常に最新で統一の取れた自覚症状表記でご使用いただけます。ですから、安心してご利用いただける変換ツールであるとともに、新たな用語の追加や変更も気にせずにご使用いただくことが可能です。

Syntptom (シンプトン) の主な機能

保存してあったものから開きます MS-Word文書にします

スケルトンが開きます

副作用用語を入力します

削除ができます
部位別表も自動的に
自覚症状が削除
(または重複度の減算)されます

定型文は入力不要です

該当の主な自覚症状を表示します

読みも自動的に表示します

重複度によって並び替えます

入力後、Word文書へ

ボタン一つでWord文書に変換します

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期に現れることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
副作用 低血糖 ていけつどう	めまい、ふるつき、動悸、空腹感、手足のふるえ、脱力感、強汗、けい
副作用 無顆粒球性減少 むかりゅうけいじょうじょう	のどの痛み、発熱
副作用 肝臓機能障害 かんぞうのしよんがひ	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、からだが重い、かゆみ、食欲不振、吐き気、尿が黄色い、嘔吐
副作用 黄疽 おうじゆ	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
副作用 再生不良性貧血 たせいふりやうせいひんけつ	めまい、動悸、あおさができる、階段や坂を上る時の動悸や息切れ、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、息切れ、鼻血
副作用 溶血性貧血 ようけつせいひんけつ	めまい、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、からだが重い、ふるつき、褐色尿、尿が黄色い、動悸時の動悸や息切れ、疲れやすい、立ちくらみ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだが重い、ふるつき、めまい、発熱、疲れやすい、立ちくらみ、汗をか
頭部	めまい、強が重い、頭痛
顔面	鼻血
眼	白目が黄色くなる、立ちくらみ
口や咽	のどの痛み、歯ぐきの出血、吐き気、嘔吐
手・足	手足のふるえ
皮膚	皮膚が黄色くなる、あおさができる、かゆみ
胸部	動悸、階段や坂を上る時の動悸や息切れ、息切れ、吐き気、動悸時の動悸や息切れ
腸胃	空腹感、食欲不振、吐き気
腎臓	
尿	褐色尿、尿が黄色い、尿が褐色になる
便	
その他	出血が止まりにくい

【稼働環境】

Windows XP/2000
IE 6.0 SP2以上
Word 2000以上

【納入方法、価格および辞書更新サポート等】

最新の用語集を入手後、当社にご依頼ください。プログラムに組み込みの上納入いたします。

価格：1台のパソコンあたりのライセンス 50,000円
辞書更新サービス：1回につき 10,000円(注)

注：用語集のバージョンアップがあった場合、お客様より当社へ更新依頼をいただき実施いたします

記載内容や仕様は予告無く変更される場合がありますので、詳しくはお問合せください